

一月十五日(金)、滑川中新川地区広域情報事務組合の臨時会が開催されました。「工事請負契約の締結について」の議案一件について、慎重審議の結果賛成全員で可決承認されました。これは、国、県の補助金を活用し準備を進めていた、Net3管内の光ファイバー網(FTHH化)の整備について、それぞれ令和二年十一月二十日に国の補助金の交付決定を受け整備するものであります。

ICT、5G等情報通信技術の進展、並びにインターネットの高速化、4K8K等の超高精細映像サービスの提供から、伝送路の大容量・高速伝送のニーズに応

**滑川中新川地区広域情報事務組合・臨時会開催**



滑川市議会議員 浦田 竹 昭

**うらだ竹昭 市議会報告**

滑川市議会議員 浦田 竹 昭  
富山県滑川市開520  
TEL(076)474-1337  
FAX(076)474-1343  
(第74号)

**《工事請負契約内容》**

入 開 札 日	令和2年12月25日
工 事 名	滑川中新川地区 FTTH 整備工事
工 事 場 所	滑川市、上市町、立山町 地内
工事完成期日	令和3年3月31日
入 札 方 法	条件付一般競争入札
予 定 価 格 (事前公表)	¥1,882,276,000円 (消費税含む)
契 約 相 手 方	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 北陸社 北陸営業所
契 約 金 額	¥1,778,700,000円 (消費税含む)
入 札 率	94.5%

えるため、光伝送路設備、光ファイバー網整備を、高度無線環境整備推進事業補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、整備するものです。

Net3においては、設備更新に伴いケーブルテレビ並びにインターネットの更なるサービス向上に繋がるものと確信しており、この機会に是非ご加入の検討をいただければと思っております。

その内容の抜粋について

・事業譲渡は、令和三年七月一日とし、ただしHFC線路設備の譲渡は、令和四年九月末日とする。

・令和三年四月～六月の三ヶ月は、周知・移行期間としてケーブルテレビ事業の保守・運営に係る業務を(株)TAMに委託する。

・譲渡価格は、有形固定資産の残存価格を基準とし、同軸ケーブルの撤去費用を差し引いて算出したもので、二百八十八万一千九百三十六円(消費税抜き)とする。

・譲渡条件(抜粋)として、事業譲渡後三年を目途に構成自治体のエリア全域において、光ファイバによる放送サービス及び通信サービスの提供を開始すること。国、県の補助金を活用して、Net3が



ケーブルテレビ・Net 3

FTTHのセンター設備、幹線整備を行う。ただし、FTTHサービス提供に必要な引き込み工事等に係る費用は、原則として既存加入者の負担が増加することなく、(株)TAMが「無線局開設計画」に基づき実施する。

事業譲渡後においても、Net3の加入率向上にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**【お知らせ】**

先の市議会報告第73号「みのわ温泉入浴施設の浴場に壁面の設置」の記事の中で、記載ミスで本来、「上大浦の佐藤健司さん」と記載すべきところ、敬称の「さん」が抜けていました。心から深くお詫びを申し上げます。申し訳ありませんでした。今後は、記載ミスの無いよう、確認を徹底してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

=夢のある郷土を次の世代へ!! =

問に思える。

二階、三階は、避難施設との位置づけで、普段は多目的ホール、貸し室として利用とのことだが、隣接して市民交流プラザの類似施設があることから、競合、共倒れが危惧され、利用者需要等の調査・検討がなされているのか疑問に思える。

国の補助の関係から、避難施設としての位置づけだが、なぜ洪水浸水指定されている場所に避難施設なのか、防災用品備蓄倉庫がなぜ利便性の悪い二階なのか、防災意識の欠如としか思えない。

今後、人口減少、財政状況、並びにコロナ禍後の社会情勢の変化の時代にあつて、公共施設の機能集約、統廃合、並びに一層の公共施設のランニングコスト削減が行政マネージメントに求められることから、時代の先を見据え、次世代にツケを廻さないようにすべきで、何よりも多くの市民から望まれて建設される施設には価値があつても、望まれずに建設された施設は、後世に禍根を残すことになり、あらためて既存の施設を含めて、公共施設のあり方を検討・議論する必要があると思われ、これらの観点から、「中滑川駅前エリア整備事業」に反対するものです。議員各位には、将来を見据え、次の世代に対し責任ある判断をいただきますようお願いいたします。

**人権擁護委員候補者の推薦**

人権擁護委員のうち三名が、六月三十日をもって任期が満了することから、次の方々が推薦されました。

若林千香子 (滑川市上小泉) 再任  
石坂 好美 (滑川市栗山) 再任  
石政 智子 (滑川市下島) 新任

**トピックス**

**小規模特認校ってなあに**

東加積小学校では、令和三年度より小規模特認校制度が導入されます。

小規模特認校制度とは、児童数が減少し自然豊かな環境に恵まれた小規模な小学校で、小規模の良さを活かした特色ある教育・学校運営を展開して、市内全域・学区外からでも入学ができる制度です。

小規模特認校の良いところは、

- (1)人数が少ないので学習指導や生活指導において、きめ細やかな指導を受けることができ、役割や発表などの活躍の機会も多くなる。
- (2)自然や文化が豊かな地域であり、地域の方々の協力を得ながら、地域の特性を活かした特色ある教育活動が行われる。
- (3)他の地域の児童と接することで、人間関係の広がりができ、学級や学校の活性化につながる。
- (4)保護者や児童の希望に合う選択ができ、少人数の方が力を発揮できる児童にとっては、活躍の場が広がる。

小規模特認校制度導入の推奨にあたり、これらメリットについて理解を賜り、そして学校、家庭、地域が連携を図り、教育活動に係わり協力しながら、子どもたちの成長を見守りたいと思います。



東加積小学校

**東加積小学校 令和3年度児童数**

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	学級数
令和3年度	6	4	7	9	15	9	50	6
そのうち特認校生	(3)	(1)	(2)	(1)	(3)	(0)	(10)	うち特支級(1)

※2年と3年が複式学級

**トピックス**

**昭和五十年蓑輪村拡大写真**

みのわ温泉ファミリーハウス玄関前と蓑輪公民館前に、昭和五十年蓑輪村の世帯配置全体拡大写真が、蓑輪町内会長(古橋久一郎氏、協力者・山岸利政氏、西谷善一氏、斉藤嘉一郎氏)によって設置されました。約半世紀前の蓑輪村の繁栄を懐かしく思い出されます。みのわ温泉へ入湯の際には、是非ご覧いただけます。

蓑輪町内人口(世帯数)動態・昔と今

	人 口			世帯数
	男	女	計	
昭和51年1月1日・現在	54	45	99	31
令和3年4月1日・現在	5	5	10	3

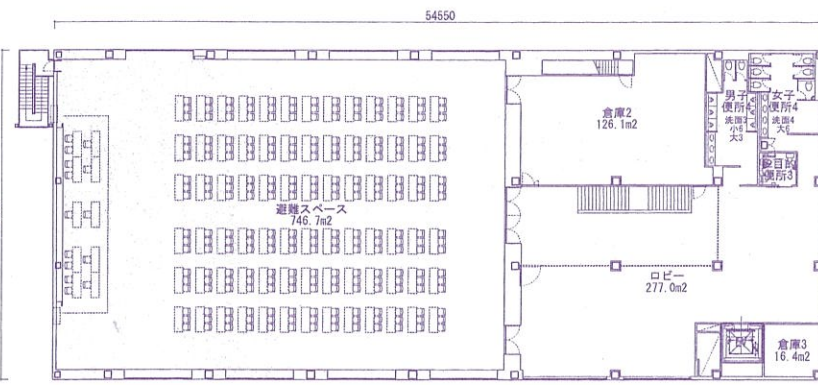
※住民基本台帳より

**昭和50年の蓑輪村 蓑輪(みのわ)地名の由来**

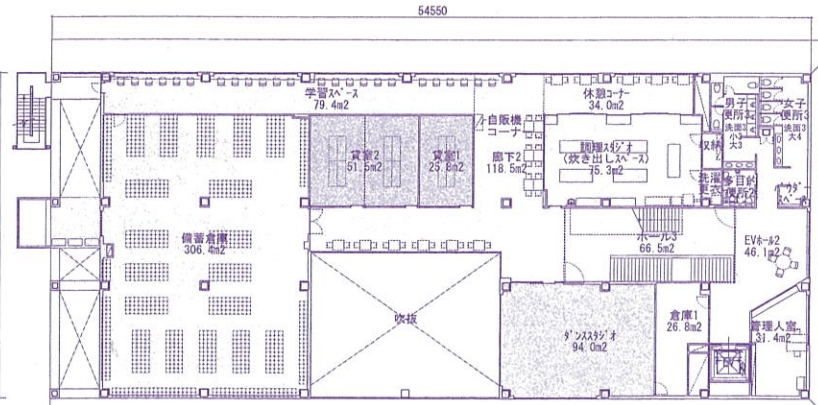


みのわ温泉玄関前

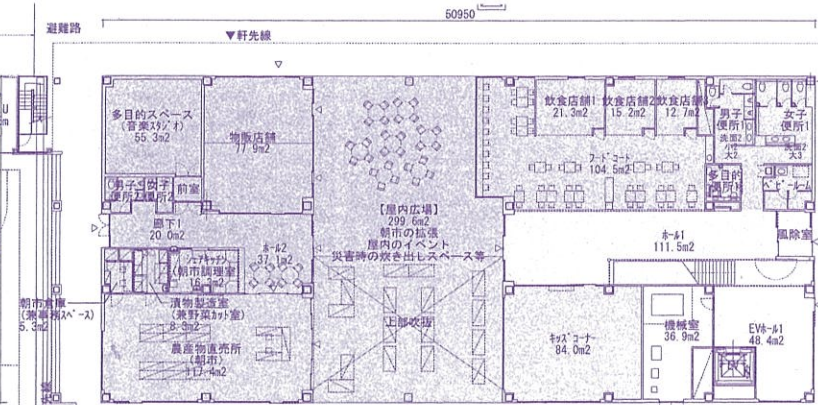
=夢のある郷土を次の世代へ!! =



(仮称) 中滑川防災施設平面図・3F (1,273.8㎡)



(仮称) 中滑川防災施設平面図・2F (1,060.2㎡)



(仮称) 中滑川防災施設平面図・1F (1,187.4㎡)

**【一般質問・一】**  
**今冬の豪雪(雪害) 対応について**

**Q** 当該施設は二階以上で三メートルを超えており、洪水等の浸水リスクから守ることができると緊急避難施設となると考えている。

**Q** 人口減少、財政状況、コロナ禍後の社会情勢の変化の時代にあつて、公共施設の機能集約、統廃合、ランニングコストの削減が、行政マネージメントに求められることから、あらためての見直しについて見解を問う。

**【一般質問・二】**  
**中滑川駅前周辺地区 整備事業について**

**Q** 所有者不明の土地問題解消として、土地の相続登記義務化について、迅速な適正な課税を行うことができ、一定の税収増が見込まれ、所有権の明確化で土地の円滑な利活用、適正な管理等につながるものと考えている。

**【一般質問・三】**  
**土地の相続登記義務化について**

**Q** 所有者不明の土地問題解消として、土地の相続登記義務化によって、土地管理の明確化、土地の有効利活用の推進、永代地上権問題の解消、固定資産税賦課徴

**【反対討論・抜粋】**  
**中滑川駅前エリア整備事業**

中滑川駅前エリア整備事業の基本構想、基本設計、施設レイアウト等において、度重なる設計変更、補助申請の変更により、事業内容が二転三転し、コンセプトが軽薄化し、市民のコンセプトが得られず、実際の利活用の議論も尽くされていない。

また、人口減少時代に財政も厳しさが増すコロナ禍で「十億四千万円あまり」の巨額の事業予算を注ぎ込み、維持管理運営費で毎年「約二千八百万円」を負担していく、中身の薄い中途半端な箱物建設は、必要不可欠な最優先すべき事業だとは思えない。

そして、一階は、賑わい創出空間との位置づけで、テナントが入るとのことだが、集客見込み、採算性、継続的経営の可否等が不透明で、マーケティング調査、並びに過去の検証がなされているのか疑

三月定例議会より

三月定例議会は、三月四日(木)から三月二十三日(火)の二十日間の会期で開催されました。

令和三年度一般会計予算、百三十五億七千九百八十一万円(対前年度当初予算比十一・九%増)、特別会計予算、六十七億六千六百七十八万六千円(対前年度当初予算比二・八%減)、企業会計予算三十六億六千七百一十九万九千円(対前年度当初予算比四・五%増)、予算総額二百四十億七百三十一万五千円(対前年度当初予算比六・三%増)となる新年度予算関係議案七件、令和二年一般会計補正予算をはじめとする補正予算関係議案二件、総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制定をはじめとする一部改正条例関係議案十三件、専決処分の承認を求

める議案一件について、慎重審議の結果、議案一号の令和三年度一般会計予算一件について、分離採決となり、賛成多数で可決・承認され、他の議案二十三件については、いずれも原案の通り、賛成全員で可決・承認されました。

最終日には、人権擁護委員候補者の推薦について三件の議案の追加提案があり、慎重審議の結果原案の通り賛成全員で可決・承認されました。また、大和堆及び尖閣諸島における安全確保を求める意見書の議員提出議案一件について、慎重審議の結果賛成全員で可決・承認されました。

なお、私の一般質問並びにその答弁の概要、並びに議案一号の令和三年度一般会計予算に対する反対討論の概要については、次の通りであります。

【一般質問・一】

今冬の豪雪(雪害) 対応について

今冬は、一月七日から降り始めた雪が数日間も続き、昭和五十九年の豪雪以来、三十九年ぶりの豪雪となりました。

**Q** 主要幹線道路や枝線等の除雪状況、並びに除雪体制の現状と今後の対応について見解を問う。

**A** 今後は、除雪路線の要望は増え、除雪機械や除雪業者並びにオペレーターについては、減少傾向にあることから、現在の除雪体制を堅持できるよう実施方法等を検討していかなければと考えている。

**Q** 農業用ハウスの損壊等の雪害状況、並びに再建、修繕への対応・支援、また育苗作業への支援について見解を問う。

**A** 国・県の復旧等の経費助成の支援体

制が打ち出されており、被災農業者への支援内容の周知と、修繕所要額調査を実施している。また、育苗についても計画どおりの水稲の作付けが行えるよう、関係機関と連携しながら支援をしていく。

**Q** コミュニティバスの運行経路の変更の実態とその対応について、並びに今後の運行体制について問う。

**A** 降雪等の影響で、運行経路の一部変更の対応を行い、利用者には代替での送迎の対応を行った。今後降雪時は、運行委託業者及び道路管理者と連携を密にし、バスの運行に支障を来さないよう努める。

【一般質問・二】

中滑川駅前周辺地区 整備事業について

中滑川駅前周辺整備事業について市民からは、「何ができるの」、「箱物で何するの」、「維持管理運営費が増えるの」、「テナントに入る者がいるの」、「ホールに会議室、市民交流プラザにもあるよね」、等々の声が聴かれる。

**Q** 事業のコンセプトが不明確なまま、一体誰のための事業なのか、また市民のコンセンサスが得られているのか見解を問う。

**A** 基本構想、基本設計、実施設計と進めてきており、市民のための事業であつて、

中滑川駅前周辺整備事業について市民からは、「何ができるの」、「箱物で何するの」、「維持管理運営費が増えるの」、「テナントに入る者がいるの」、「ホールに会議室、市民交流プラザにもあるよね」、等々の声が聴かれる。

**Q** 事業のコンセプトが不明確なまま、一体誰のための事業なのか、また市民のコンセンサスが得られているのか見解を問う。

**A** 基本構想、基本設計、実施設計と進めてきており、市民のための事業であつて、

中滑川駅前周辺整備事業について市民からは、「何ができるの」、「箱物で何するの」、「維持管理運営費が増えるの」、「テナントに入る者がいるの」、「ホールに会議室、市民交流プラザにもあるよね」、等々の声が聴かれる。

**Q** 事業のコンセプトが不明確なまま、一体誰のための事業なのか、また市民のコンセンサスが得られているのか見解を問う。

**A** 基本構想、基本設計、実施設計と進めてきており、市民のための事業であつて、